

NATCCO 清算終了

残余財産 102億円 株主に分配

那覇空港旧ターミナルビルの運営会社で、2005年から清算手続きを進めていた那覇空港ターミナル(NATCCO)が9日、那覇市の沖縄ハーバービューホテルクラウンプラザで総会を開き、裁判所への届け出などの手続きを残し、清算業務を終了したと株主に報告した。会社設立以来53年の歴史に幕を下ろした。総会では4年間の清算業務の決算報告を承認。7日に行った最後の振り込みを含め、計102億円の残余財産を株主に分配した。

53年の歴史に幕

清算業務では、同社が保有していた現在の空港ビル運営会社、那覇空港ビルディング(NABCO)の株式の売却価格をめぐる交渉

が難航したが、裁判所が示した総額20億円で県とNABCOに売却することで6月に決着していた。このほか上場株や県内企



清算手続きの終了を報告した那覇空港ターミナルの総会＝9日、那覇市の沖縄ハーバービューホテルクラウンプラザ

業株、不動産、金融商品の売却代金なども含め、清算業務で計73億円の収入額を計上。旧国内線ビルの取り壊しや清算事務などの経費

を差し引いた54億円に、4年前の解散時点の現金預金48億円を加えた102億円の残余財産を分配した。

代表清算人の一人、山内真樹公認会計士は「地方空港でこれほど余剰金を出して配当できるのは全国でもあまり例がない。株主の協力のおかげだ」と語った。

一方、同社から自社株式を買い取ったNABCOは現在、株主構成比率の見直しについて県と協議している。従来はNATCCOが筆頭株主として41%を保有していたが、行政機関3、航空会社3、地元企業4の割合に近づけたい意向だ。